

# 常盤中だより



## 学校教育目標

「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



## 今年度も気づき力を高め「元気に登校」「笑顔で下校」

校長 山下 誠二

4月10日、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、第71回の入学式を無事挙行できましたことに、まず御礼を申し上げます。平成29年度の常盤中学校は、329名の新生を迎え、生徒数923名、教職員数65名で元気よくスタートいたしました。



さて、常盤中学校の校長となって2年目を迎えました。着任以来、言い続けてきた目標があります。それは、気づき力を高め「元気に登校」「笑顔で下校」できる生徒になってほしいという強い願いです。また、行動目標として、今年度も引き続き「さわやかなあいさつ」「校歌を大切にしっかり歌う」「靴のかかとをしっかりとそろえる」ことに取り組んでまいります。また、今年度は、+（プラス）1として「名前を呼ばれた際に、しっかり返事をする」ことを付け加えました。入学式で新生の名前を担任が呼びましたが、みんな大きな声で返事をしてくれました。これから3年間、幾度となく名前を呼ばれることがあると思います。大きな声でしっかり返事ができる生徒に成長してくれることを心から願っています。

昨年度は、1学期の終業式から「常盤感動賞」という校長賞を設けました。特別支援学級の生徒で、休みの日も花壇の水やりを自主的に行ってくれた生徒、サッカーの大会で、水しぶきがかかった椅子を素早く拭きあげてくれた生徒、俊英館の周辺を指示されなくても、率先してきれいに掃除してくれた生徒、駅伝大会で選手になれなくても、選手を陰から支えてくれた生徒、合唱コンクールで、全身を使って素晴らしい歌声を披露してくれた生徒、いつも全校一の大きな声であいさつを返してくれた生徒、交通事故発生時に、常盤小まで走ってAEDを取りに行ってくれた生徒、下校中にけがをされた高齢者を介抱し、救急搬送を依頼してくれた生徒、合計20名に賞を授与しました。特別、難しい内容ではありません。この生徒たちは、「ABCD」の原則ができている証です。A=当たり前前のことを B=バカにしないで C=ちゃんとやれる人こそ D=できる人 当たり前前のことがしっかりできる人は、周囲の人から信頼されるようになります。人から頼りにされると、自分が伸びるための機会が増えてきます。これは学校だけではありません。大人の世界でも同じだと考えます。今年度は、いろんな場面で、このABCDの原則を発信してまいります。よろしく願いいたします。

